

平成 22 年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」選定取組

ものづくり教育と地域連携による就業力育成

岡山理科大学工学部 林紘三郎、松浦洋司、クルモフバレリー、大倉充
ナカシマメディカル（株）、ハリソン東芝ライティング（株）など合計 20 社

Keywords: 大学教育改革、就業力、実学的専門教育、地域連携、学生主体学習

最近の工学部の学生の特徴として、大学入学までに実験や工作などの実体験に乏しく、工学やものづくりに対する現実感や目的意識に欠如が見られる。また、産業界からの要望として「実践的なものづくりを体験させてほしい」、「特定の専門分野だけでなく工学の基礎的な知識を幅広く習得させてほしい」、「それらを通してリーダー的資質を持った技術者を育成してほしい」などの意見が多い。

これらを踏まえて、本学工学部では、各学科における実践的なものづくり教育科目の整備や工学部の全学生が共通的に学ぶ科目、「経営工学」、「技術マネジメント」、「工業デザイン」などの整備を行ってきた。さらに、地域企業の技術者に協力いただきながら、学生が社会に出てから発揮できる「就業力」を育成するための本取組を開発し、文科省の事業に選定された。

本取組は、岡山理科大学の教育課程内外を通じて以下の3つの内容を実施することにより、工学部の学生に対して工学分野における就業力（工学就業力）の育成をめざすものである。

- (1)ものづくり就業力育成科目の充実化と4年間のキャリア教育の体系化
- (2)工学技術者バンクの構築による地域産学官連携教育の推進
- (3)キャリアポートフォリオ作成システムを用いた学生主体学習の支援と個別教育指導

是非、本取組をご理解いただき、多くの企業の技術者に協力いただきたい。

<http://www.ous-shugyoryoku.jp/>

